



# エネルギー・アイ 明るい未来の みんなの電気



## 第7回 え～っ、聞いてないよ～？？ 「再エネ賦課金」

電気代がどんどん高くなって、家計を圧迫しています。家計はもとより企業の経営も圧迫して、日本の国際競争力は低下の一途を辿る有様。これに、最近の急激な円安傾向が拍車を掛けています。私たちが支払っている電気代は、①基本料金、②電力量料金および③再生エネルギー発電促進賦課金：通称「再エネ賦課金」で構成されています。

電力会社は、発電コストが高い再生可能エネルギーを一定期間買い取ることが義務付けられている、電気消費者の私たちが太陽光発電のコストの一部をいつの間にか負担させられているのです。一方で、再生可能エネルギーは気まぐれな発電、太陽が出ず風のないときにはどうしても火力発電のように、出力の調整が可能な発電によって穴埋めするしかないのです。今のところ、**再生可能エネルギー発電を進めるほど、更に火力発電が必要となる皮肉な状態。**

火力発電の燃料は殆ど輸入に頼っていて有事には調達が難しい、平時でも円安になるとコスト高となる、正に国家存亡の危機を迎えてているのです。

### ウクライナの教訓、それは何事もミックスで危機を回避すること

ウクライナのロシア侵攻問題は、図らずも私たちに多くの教訓を与えてくれました。残念ながら日本は資源の乏しい国、資源国の制御を受け続け高価な資源を買い続けることになるかも知れませんし、資源自体が手に入らなくなるかも。電気代は今後も上昇を続けることも予想されますが、日本には国民性に裏付けられた優位技術があります。

東日本大震災の教訓を生かした電力技術は、更なる安全性や経済性を高めながら、日本と世界の発展に寄与し続けることができます。エネルギー危機回避には、**水力、火力、原子力、そして再エネを安全にバランスよく運転することが**、今からとても重要な視点。電力のあるべき姿を考えつつ、日本と地球の未来に思いを寄せて参ります。



電事連の新CM

### 【寄稿】みかみ修って、どんな人 その5

猛暑が続いた7月末に所用で日立にある某ホテルに出かけた折、ロビーで三上議員とバッタリ逢いまして、「何ですか今日は」と尋ねましたら、「このホテルで見合いをさせるので、2人と待ち合わせです」と。

「見合い」という言葉はもはや死語になったと思っていたら、なんと三上さん今年は2回目の段取りで、1回目は上手くいき結婚までこぎつけたとの事でした。

結婚相手を見つけるには、職場の先輩や上司、地域の世話好きな人がいて、見合いが成立し結婚することもよくみられた。しかし、個人情報保護法が施行されたことにより世話好きな人も他人の生活領域には入り難くなり、お見合いそのものが難しくなっているが、それでも世話役を買って出る三上さんに頭が下がります。三上議員は議会と会社の掛け持ちで超多忙のなかでも、高齢者や1人暮らしの方のコロナワクチン接種の予約や病院まで送迎するなど、地域の人の世話役を買って出る姿勢とバイタリティに改めて感服した次第です。（R）



議員は身近なマッチングアプリ

### 一般質問解説：東海村の農業再興には外国人実習生の受け入れが必要

東海村の農地には、休耕地が随分目立ち始めました。ロシアのウクライナ侵攻により、**食料自給率確保の重要性**が再認識される中、休耕地の増加は農業の担い手不足が直接的な原因になっています。一方、茨城県の南部では、**外国人技能実習制度**を活用した農業が盛んに展開されておりましてその成果は顕著、**本村の農家でも実習生の需要は相当数ある**と予想、事実ある農家は「農業実習生の働き振りはとても素晴らしい、魅力的」と話しておられますし、本村で受入組合やNPOを計画する団体の動きもあります。



東海村の米は日本一  
撮影:亀下地区

現行の技能実習制度には様々な課題が存在し、また、**農家が個人で外国技能実習生を採用したくても、雇用契約を締結し実習を管理することはなかなか難しい**。今後、需要が増すだろう外国人技能実習生の受け入れに対して、村がどのように関与し対応していくのかを確認しながら、**東海村の農業振興**を訴えました。東海村には実習生が必要とする空き家という資源もあり、実習生の足となる地域公共交通も整備され、生活に必要な施設もありますので、外国人実習生が安心して働くことができる環境は整っています。

### 元駐在員が教える台湾の名店・名所 その七

台北桃園国際空港から入国して、高速道路で台北に向かうと左手に見える巨大なホテルが「圓山大飯店」（右写真）。真紅の大樓は当時の国威をかけて建設され、今でも多くの国賓をお招きしております。台北に駐在して3ヶ月も経ち、そこそこ海外生活にも慣れて来た駐在員は、日本から駐在員激励の大義名分で来る人たちをお招きし、このホテルでお茶や会食の場としました。このホテル、一種の国家的財産の体を成し、ロビーも素晴らしい美術館級の空間です。



台北には茨城空港から信頼の翼タイガーエアで



台北圓山大飯店

ホテルの金龍餐廳というレストランは素晴らしい、台北松山空港を離着陸する飛行機を眺めながら、飲茶（ヤムチャ）と熱燗の紹興酒に舌鼓。台湾の入国再開が待たれます。

### Tokai ダンスフェスが示した東海村の新たな可能性

9月3日（土）に東海駅東口イーオン東海店前の駐車場で開催された Tokai ダンスフェス（東海村観光協会 川崎敏秀会長主催 通称:Bin Fes）が盛大に開催されました。新型コロナ感染症の蔓延で、長らく色々なイベントが中止される中、東海村で盛んなフラダンス教室の方々の演技披露の機会を作りながら、東海村の新たな可能性を模索しようとするものです。因みに私は、イーオン東海店前の交差点で一日中交差点警備。（涙）

昼間は、キッチンカーが勢揃いした会場で、多くのフラダンサーが日頃の努力を重ねた演技を披露、夜は秀逸なボーカルでひと際冴えるジャズの演奏。

行政主導ではなく、多くの民間の賛同者が立場を超えて力を合わせながらの手作りフェスタは、東海村の新たな可能性を饒舌に語りかけるようでした。



東海村はフラダンスのまち